

帝京医学雑誌投稿規程

(2023年12月改定)

1. 本誌は医学・医療に関する綜説，原著，症例報告，統計・調査，資料，報告などを掲載する。
 2. 本誌は年6号とし，奇数月の25日に発行する。原稿の締切りは奇数月の10日とする。
 3. 倫理委員会などの承認，利益相反などについては，本文中に記載すること。
 - 1) 人を対象とする生命科学・医学系研究は，ヘルシンキ宣言に基づく倫理的規範および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を遵守して行うこと。

原則として研究機関の倫理委員会などの承認を得ているものとし，本文および論文表紙に承認番号・承認日を記載すること。介入研究のみならず後ろ向き研究を含む観察研究も倫理委員会などの承認を必要とする。
 - 2) 症例報告においては，倫理委員会の承認は必要ないが，個人を特定されることがないよう個人情報の匿名化に留意すること。氏名，生年月日，住所，個人識別符号などを消去することで匿名化されると考えられるが，症例や事例により十分な匿名化が困難な場合は，患者（あるいはその代諾者）から書面による同意を得，そのことを本文中に記載すること。
 - 3) 臨床研究法や再生医療等安全性確保法に該当する特定臨床研究や再生医療研究は，それぞれ認定臨床研究審査委員会や認定再生医療等委員会の承認を得ているものとし，本文および論文表紙に承認番号・承認日を記載すること。
 - 4) 動物を対象とする研究は，実験が実施された組織における実験動物に関わるガイドラインに則した研究であることが求められる。原則として動物実験に関する倫理委員会などの承認を得ているものとし，本文および論文表紙に承認番号・承認日を記載すること。
 - 5) 利益相反を有する場合は，その旨を本文中に記載すること。
 4. 投稿原稿は和文または英文とし，図，表を含めた原稿一式3部を提出する。また，電子データファイルも記録媒体に収めて提出する。
 5. 著者は原則として帝京大学医学部および帝京大学板橋キャンパスの在籍者に限る。
 6. 共著論文の場合，共著者の人数は常識的な範囲とし，かつ医学雑誌編集者国際委員会の定める論文著者の基準（下記）を満たしていることを条件とする。なお，原著論文・学位論文の場合は，投稿時に「著者役割一覧」を添付すること。
- 〈医学雑誌編集者国際委員会の定める論文著者の基準〉

論文著者として名前が掲載されるためには，以下の1)～4)のすべての項目に該当していなければならない。

 - 1) 研究の構想・立案，データの収集，あるいはデータの解析および解析結果の解釈のいずれかに実質的に貢献している。
 - 2) 論文の原稿を書くか，その論文の内容に関わる極めて重要な校正・改訂作業（リバイズ）にかかわっている。
 - 3) 掲載されている最終版の原稿の中身を理解し，承認している。
 - 4) 論文のあらゆる側面について，論文の正確性・真正性に疑義が寄せられたときに適切に説明することができる。
7. 原稿提出先
帝京大学医学部
帝京医学雑誌編集委員会事務局
(帝京大学医学総合図書館 内)
zasshi@med.teikyo-u.ac.jp

8. 投稿論文の規定頁数、表・図・写真の規定数、および原稿枚数を下表に示す。

	規定 頁数	表・図・写真 の規定数	和文本文 原稿字数
綜説, 原著	10 頁	8 枚	約 17000 字
症例	7 頁	6 枚	約 11000 字
統計・調査資料	4 頁	5 枚	約 7000 字
読者の広場	3 頁	3 枚	約 5000 字

9. 投稿された論文は査読者により審査される。査読者の氏名などは公表しない。採否は編集委員会が決定する。査読者の意見に基づいて、原稿の体裁や内容などについて著者に訂正を求められることがある。著者の訂正が6ヵ月以内に行われないうちは新規投稿扱いとする。
10. 掲載は原稿の採択順とする。
11. 校正は著者の責任において行う。校正は脱字、誤植の訂正にとどめ、原文の変更・削除・挿入は認めない。大幅な訂正があれば、改めて査読を行い、実費を徴収する。
12. 著者は掲載される論文（依頼原稿を含む）について、下記の通り負担するものとする。
- 1) 学位申請論文
学位申請論文については全額実費負担とする。
 - 2) 規定頁数の超過負担
原稿が制限枚数以内であっても、仕上がり規定頁数を超過したときは実費負担とする。
 - 3) 図版費などの負担
図・写真などの原図は鮮明で、そのまま製版可能なものを用意する。図・写真の規定数を超過した場合、およびトレース、修正、カラー写真の製版費などは実費負担とする。
 - 4) 別刷費
30部までは無料、超過分を有料とする。別刷の希望数は校正時に申し込む。
13. 本誌に掲載された論文、抄録などの著作権は帝京大学に帰属する。
14. 原稿は他誌に未掲載のものに限る。投稿中のもの、掲載予定のものも投稿してはならない。また、本誌掲載後（投稿中も含む）は他誌への投稿、無断転載を禁じる。

〔論文の体裁と内容について〕

1. 原稿の形式

①論文タイトル、著者、所属、キーワード（英語5語とそれに対応する和語5語以内）、②和文抄録（600字以内）、③本文（はじめに、方法、結果、考察）、④引用文献、⑤図の説明、⑥英文抄録（300語程度）、⑦表、⑧図（それぞれ出現順にA4判用紙に印刷もしくは貼りつける）、それぞれ項目ごとに別紙とし、この順にとじる。なお、原著論文の和文抄録は①背景・目的②対象・方法③結果④結論に英文抄録は①Background②Methods③Results④Conclusionsにわけて記載する。症例報告、綜説はこの限りではない。

いずれの投稿論文にも、委員会規程の書式に必要事項を記載し表紙として添付する。（帝京医学雑誌のホームページ(<http://www.med.teikyoku.ac.jp/~zasshi>)からダウンロードするか、各巻1号に挿入されたものをコピーする）

2. 原稿の書き方

- 1) 原稿は可能な限り Microsoft Office のアプリケーションソフトで作成する。縦 A4 判用紙に 12pt, ダブルスペースで横書きし、必ず頁数を付す。
- 2) 本文の大見出し（はじめに、方法、結果、考察）には番号をふらない。小見出しは 1, 1), (1), i, i), (i) を基本的順序とする。
- 3) 現代かな遣いに従い、医学用語を除き常用漢字とする。旧字体、略字体を使用しない。
- 4) 度量衡は CGS 単位を用いる。
- 5) 文中にしばしば繰り返し使用される語は略語を用いても差し支えないが、初出のときは完全な用語を用い、以下に略語を使用することを明記する。

(例) 肝細胞癌 (hepatocellular carcinoma, 以下 HCC と略記)

3. 図（写真）、表について

- 1) 表の上に表番号と表題をつける。表の番号は、“表 1”, “Table 1” のようにする。
- 2) 図の下に図番号と図の題を記す。図の番号は、“図 1”, “Figure 1” のようにする。図の説明は、ここには記さない。

- 3) 表・図の引用は該当文章の末尾に () で示す。また、表・図の挿入箇所を本文の欄外に (図 1) のように記し明示する。
- 4) 大き過ぎる図は収載できないことがある。
- 5) 図の表題と説明は、順序にしたがって別紙に記載する。
- 6) 他から図表を転載する場合 (改変しての転載含む) は、転載許諾を得ているもの、または転載許諾不要のものに限る。また、図表の説明に出典を明記する。

4. 引用文献

- 1) 引用文献は、引用順に記載する。本文中においては、番号を該当箇所の右肩に 1), 2) のようにつけ、引用を明らかにする。
- 2) 雑誌論文の記載は、著者名・表題・雑誌名・出版年；巻：初頁－終頁．とする。
単行本の記載は、著者名・表題・編者名・書名・出版地：出版社；出版年．p. 初頁－終頁．とする。
- 3) 雑誌の省略名は「医学中央雑誌収載誌目録」 「List of Journals in Index Medicus」に準ずる。
- 4) 電子文献を引用する場合は、著者名・ウェブサイトの名称・URL・最終閲覧日を記載する。
- 5) 著者が 4 名以上の場合は、筆頭者からの 3 名を記載し、それ以上は「他」, 「et al」 と略す。
- 6) 引用例

近藤大祐. ラット心筋の長さ張力関係と静止および活動電位におよぼす SCN, K および Ca イオンの影響. 帝京医誌 1992 ; 15 : 87-95.

佐藤友英, 近藤清廉. 向精神薬, 強心薬などによる医原性不整脈. 杉本恒明編集. 不整脈学. 東京: 南江堂; 1992. p. 517-21.

Lown B, Verrier RL. Neural activity and ventricular fibrillation. N Engl J Med 1976 ; 294 : 165—70.

Weinstein L, Swartz MN. Pathologic properties of invading microorganisms. In : Sodeman WA Jr, Sodeman WA, editors.

Pathologic physiology : mechanisms of disease. Philadelphia : Saunders ; 1974. p. 457-27

国立感染症研究所. 生物学的製剤基準. <https://www.niid.go.jp/niid/ja/mrbp.html>. 2017/12/22 閲覧

5. 著作権譲渡の同意書

著者は、投稿時に著作権譲渡の同意書を提出する。用紙は、編集委員会で入手またはホームページからダウンロードする。

6. 機関リポジトリでの公開

帝京医学雑誌は綜説, 原著, 症例報告, 統計・調査, 資料, 報告など編集委員会が必要と認めた記事を帝京大学機関リポジトリで公開する。